

「大規模災害に備えて」第三回公開セミナー

全国の災害時の経験に学ぶ

2021年9月（第一回）、2022年3月（第二回）に続き、「大規模自然災害に備える」公開セミナー第三回を開催します。

第三回は、2016年以降の豪雨・地震災害の具体的な事例について全国16道府県17生協の聞き取り（中間報告）をもとに、災害時と日常の連携について考えます。

日時 2022年12月10日（土）13:00～15:40

会場 生協生活文化会館 4階会議室（オンライン併用）

名古屋市千種区稲舟町1-39 地下鉄東山線 本山駅4番出口 2分

■開催趣旨：栗田暢之さん（認定 NPO レスキューストックヤード代表理事）

本年度の災害をふまえて

■報告1：宇野琢郎さん（NPO レスキューストックヤード・コープあいち）

「災害時の生協の役割」聞き取りの目的と概要

■報告2：中谷隆秀さん（長野県生活協同組合連合会・事務局長）

「災害時の生協の役割」聞き取りから重要と思うこと、気づいたこと
～長野県での災害時ネットワークの経験にも照らして～

■中間報告への質疑・各県（市）より報告・交流

参加申込書 右のQRコードからお申し込みください。

氏名	所属	メールアドレス
参加方法	会場	オンライン



連絡先：地域と協同の研究センター

TEL 052-781-8280 FAX 052-781-8315 e-mail AEL03416@nifty.com

*いただいた個人情報は、本企画の開催目的の範囲で利用します。

QRコードからのお申し込みができない場合は、電話かFAX、e-mailでお申し込みください。

【報告 1 ; 「災害時の生協の役割」聞き取りの目的と概要】

宇野琢郎氏（コープあいち組合員活支援部）は、2022年4月から、2年間の予定で名古屋市の「認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード」に出向し、防災について学ぶこととなり、北海道から、特に災害が頻発している九州地域まで、全国17の生協（生協連）を選定し、9月からインタビュー活動を始めています。これまでのインタビューで感じたことや、今後この情報をどう活かすべきかについて、中間報告を行います。

【報告 2 ; 「災害時の生協の役割」聞き取りから重要と思うこと、気づいたこと】 ～長野県での災害時ネットワークの経験にも照らして～

一連のインタビューは、「長野県災害時支援ネットワーク[※]」の立ち上げに尽力され、令和元年東日本台風（2019年10月）の発災当初から支援活動の中心で活動された長野県生協連の中谷隆秀事務局長が同席されています。インタビューへの同席をふまえ、災害支援を通じて感じる繋がりの大切さ、生協の役割や可能性についてお話いただきます。

※長野県災害時支援ネットワーク

災害時に行政・社会福祉協議会・NPO等の三者連携をスムーズにすすめるための役割を果たし、被災者支援・被災地支援の活動を支援することを目的に2018年に設立されたネットワーク。

【調査聞き取り先】下線部は終了

2011年 東日本大震災

2016年 熊本地震	<u>生協くまもと</u>
2017年 九州北部豪雨	<u>エフコープ（福岡）</u>
2018年 北海道胆振東部地震	<u>北海道生協連</u>
2018年 西日本豪雨（7月）	<u>広島県生協連・おかやまコープ</u>
2018年 大阪北部地震	<u>大阪府生協連</u>
2019年 東日本台風	<u>長野県生協連・栃木県生協連・東京都生協連</u>
2019年 房総半島台風	<u>千葉県生協連</u>
2019年 前線に伴う大雨（8月）	<u>コープさが</u>
2020年 7月豪雨	<u>エフコープ（福岡）・生協くまもと・コープおおいた</u>
2021年 7月からの大雨	<u>静岡県生協連</u>
2021年 8月の大雨	<u>エフコープ（福岡）・コープさが・グリーンコープさが</u>